

「成果を上げる業務改善」

開催日：令和8年7月14日（火） 申込締切日：令和8年6月23日（火） 会場：ポリテクセンター宮崎

1 | カリキュラム内容

推奨対象者：中堅層

ねらい：生産性向上に資する業務改善の目的と必要性を理解し、改善の視点と具体的な進め方を習得する。

基本項目	主な内容
1 業務改善と業務の可視化	<ul style="list-style-type: none">(1) なぜ生産性向上が必要か 企業を取り巻く問題と生産性向上でできることを考える。(2) 業務の可視化と業務改善 多くの企業で業務改善に取り組まれているが、実は問題を見えていないケースが多い。業務の可視化や数値化について学ぶ。(3) 主体性の発揮 知識・ノウハウがあっても「自分からやると損」などの理由で行動できていないことも多い。主体性を上げるヒントを学ぶ。
2 業務改善手法	<ul style="list-style-type: none">(1) 効果が高く継続できる業務改善 アイデアが出ない、マンネリ化している、などの業務改善の問題を解決し、継続して成果を上げる方法について学ぶ。(2) 問題の根本原因の抽出と具体策計画【演習あり】 なぜなぜ分析を活用したグループワークにより、問題を論理的・多面的に捉え根本原因を抽出し、具体策の立案までを習得する。共感すること、聞く・話す・書く、ことの重要性を学ぶ。(3) 成果を上げる業務改善のポイント 業務改善の大きな成果を得るには、個別の改善だけでなく、全体最適が必要となり、そのためにはチームワークが必要となる。コミュニケーション・協調性・心理的安全性・などについて事例から学び議論する。

※受講者の当日の様子を見て、主な内容を変更・追加する場合がございます。

2 | 講師紹介



田中 覚 / 株式会社タナカサトル技術支援 代表取締役

今までの簡易的な経歴：大手メーカー3社においてものづくり全般（新製品開発、業務改善、独立採算制、コストダウンなど）に従事。技術士（機械部門）取得。主体性・協調性の向上と業務の可視化・問題解決手法の両面のアプローチで成果を上げる。

カリキュラム作成のポイント・ひとこと

AI・DX、機械の投資を行っても、業務改善・問題解決の考え方や取り組む姿勢ができていないと疲弊するばかりで成果が上がりません。逆に、それらが身につけば投資をしなくても人手不足や採算悪化の解決につながる活動ができます。受講者様同士コミュニケーションを取りながら、楽しく学びましょう！